

文/ 洪広玉 (食品安全資探記者)

6月末からこれまで、『キョンシー肉』の報道は、一直線にヒートアップし、百度の検索数は**2480**万件を超えた。が、『30~40年前の肉の保存』が再び売りに出されたということについて、疑問を持つ人はいないだろうか？ まず今回の世論のヒートアップについて回顧してみよう：

新华网 新闻 新华网 > 财经 > 正文

长沙海关查获涉嫌走私冻牛肉20余吨

2015年06月02日 16:05:40 来源：新华网

新华网长沙6月2日电(记者李丹)记者2日从长沙海关了解到,在1日长沙海关开展的打击涉嫌走私冻品集中行动中,现场查扣来自印度的冻牛肉20余吨,抓获犯罪嫌疑人20人。

据了解,这次行动中,长沙海关一举查获了以黎某和钟某为主的两个涉嫌走私冻品团伙,现场查扣涉嫌运输走私冻品的车辆2辆,查扣账册、电脑主机等重要证据材料一批,查封冷库3个,初步统计涉嫌走私冻品总重量约800吨。

 食品安全参考

新華社ネット報道

海关总署开展打击冻品走私专项行动 破获案件货值

2015年06月03日 20:59:43 来源：新华网

新华网北京6月3日电(记者王希)记者3日获悉,海关总署1日在国内14个省份统一组织开展打击冻品走私专项缉捕行动,成功打掉专业走私冻品犯罪团伙21个,初步估计全案涉及走私冻品货值超过30亿元人民币。

海关总署1日清晨组织指挥广东分署缉私局和北京、天津、大连、南昌、青岛、郑州、武汉、长沙、广州、深圳、拱北、汕头、黄埔、江门、湛江、南宁、重庆、贵阳、昆明、西安等20个直属海关缉私局,同时在北京、天津、重庆、广东、广西、辽宁、湖南、云南、河南、山东、陕西、贵州、江西、湖北等14个省(区、市)开展打击冻品走私专项行动。

截至6月2日8时,此次行动抓获犯罪嫌疑人130名,打掉涉嫌在边境地区通过绕越设关地偷运走私冻品的走私犯罪团伙21个。经初步查证,走私团伙涉嫌走私进境冻鸡翅、冻牛肉、冻牛猪副产品等冻品10万余吨。

 食品安全参考

新华网长沙6月23日电(记者李丹)“70后”猪蹄、“80后”鸡翅……有的比一些年轻人年纪还大的“僵尸肉”通过走私入境,悄无声息地出现在宵夜摊、餐厅。这些肉有的来自疫区,有的严重过期,用化学药剂加工调味品后居然摇身一变成为“卖相”极佳的“美味佳肴”,威胁着百姓的食品安全。

 食品安全参考

新華社ネット報道

このあたりから『キョンシー肉』という言葉が迅速に伝わり世論の注目を浴びだすことになった。新京報や、南方都市報などのメディアが相次いで提灯記事を報じ、業界内部の人間の話を引用する等説得力のあるものとなった。そこに、中央電視台や人民日報も参入してきた。

皆これを事実としてしまい、酷いことには、各地食品薬品管理監督局もまた所謂『キョンシー肉』のロー

6月1日から、海関総署(宮本注:『海関』とは一般に『税関』のことを指します。慣れ親しんでいる名称なので、訳出に当たっては海関と税関が幣在していますが、同義語ととらえて読み進んでください)は、冷凍品密輸の取り締まりを展開した……

6月2日、新華社ネット(長沙)は、『長沙海関が冷凍牛肉 20 トン余りの密輸を取り締った』と題する報道を行った。官製メディアによる報道だったが、これはよくある話だ。

6月3日、新華社ネットが全国各地税関での『戦果』を報道した。但し、これらの内容は税関総署が毎年している活動であって、国民の関心を引かなかった。

ターニングポイントは、6月23日に新華社が『密輸『キョンシー肉』がテーブルに、誰の仕業か?』と題する長沙海関が獲得した事案に関しての報道を行った際に訪れた。

『キョンシー肉』はここで命名! 報道の中で『劇のストーリー』が現れた: 記者が理解したところでは、一部の輸入冷凍肉の包装上に『肉齡』30~40年という生産日時が明示されているものがあり、税関による6月の密輸冷凍肉プロジェクトの中で、密輸取締官が広西のチェックポイントで『80後(1980年以後の意味)』の肉の中から、他の年代よりも古い『70後(1970年以後)』の冷凍肉を押収したという。

ラー調査をし始めた。消費者の驚きもまた尋常ではなかった！あるメディアは、ある男性は購入した鶏肉が『キョンシー肉』ではないかと疑った為、店主が身の潔白を示すために鶏スープを水から飲んでみせたと報道していた。

男子买鸡怀疑遇“僵尸肉” 老板证清白自喝鸡汤

2015-07-07 11:06

来源：华龙网

【字号：大 中 小】



店主が自ら鶏スープを飲んで見せた

より理解しやすくするためなのだろうか、7月2日に新華社ネット（南寧）は『冷凍製品密輸の利益連鎖を解明：中には1967年の冷凍製品も！』と題した記事を発表した。

この記事がキョンシー肉の年齢を更に確固としたものにした：

「南寧市警察が密輸冷凍製品を押収した際、一部の鶏脚肉の包装の上に印刷されていた製造時期が30～40年前のものであり、その中で最も古い包装日時は1967年となっていたが、これは、ベトナム戦争時の備蓄肉であることが暗示されている。」という内容だ。

新华网 新闻 新华网 > 公益 > 正文
揭开冻品走私利益链：竟有冻品封存于1967年
2015年07月02日 08:41:46 来源：新华网



ここまでを読むと、普通の読者には問題点を見つけることは難しいが、メディア人としてこれを読むとおかしな点があると感じる。これら報道中に引用された情報源は、非常に曖昧模糊としており、表現もまた規範に会っていない。つまり『記者は聞かされた』とあるが、記者はどこからその情報を聞いたのか？ どのようにして知り得たのか？ 広西の某チェックポイントとはどこのことか？ この『80後』というのはどの『80年後』なのか？

「記者が確実に聞いた」というが、この『80後』というのは事実か？等の点だ。まあ良い、今回は、この疑念について私のような偏見の少ないメディア人が仕事をする

番だ：

これらの報道の真偽を確かめるために、私は関係した部門に再びインタビューを試みた。

（以下は、全て電話によるインタビューで、証明する写真等は提供するすべがないとはいえ、興味を持つメディアがあれば、インタビュー記録の録音や連絡方法などについて全てを提供することは可能だ）

まずは、長沙税関密輸犯取締局の楊波副局長の回答（メディアが最も早くたどり着いた税関）から：

『私たちはキョンシー肉を取り締まったことはありません。これは全国一斉行動であり、その他の取締局が押収したのか否かは私も知らないことです。逆に言えば我々は押収したことはないし、元からこのような情報を対外公布したことはありません』

『広西の某チェックポイント』で押収された可能性があるのであればと、広西南寧海関の宣伝課に連絡をとり、張という課長に聞いてみた：

『この所こんな報道が多いのですが、我々は既に専門化による検査を終了していますが、こんな情報を誰にも出したことはありませんし、キョンシー肉については、話をしたこともないのです。また、何年経過したのかといった問題についても話をしたことはありません。誰が書いた原稿なのかについて、あなたの方で、それが誰なのかを聞いてみればどうですか？』

「ならば、あなた達の工作中にこの種の肉（何十年も保存されていた肉を指す）を押収したことがありますか？」と言付け加えてみたところ、張科長は「活動中にこのような古い肉を押収したことはないです」

と答えてくれた。

科長は最後に、**2013**年初めの頃に『南寧の警察が**1967**年の肉を発見した』という報道はネット上に確かにあったぞと教えてくれた。追跡を続けてみよう：



探そうとした記事は、温州日報の比較的前の報道であった。

注目に値するのは、この文章の最後に『新華社によれば』という注釈があったことだ！！

その中の一つは：

今年**5**月（つまり**2013**年）、南寧市の警察が、**20**トン余りの偽の鳳爪（鶏の足調理品）や鶏の足、牛の胃袋、牛黄喉等の偽造された密輸原材料を捜査押収した。また、ある拠点の冷蔵庫から、民警が見つけたのは、一部の原材料（鶏爪）のパッケージ上に印刷されていた非杖が**30~40**年前のもの。うち最も古い鶏爪の包装日は**1967**年となっていた、というものだ。

注意してほしいのは、この文章の中には、インタビューをした警察関係者が具体的に示されていないこと、また、これらの肉が戦時の備蓄肉であるということが示されていないということだ。だが、これが『キョンシー肉』に関する最も早い源となっているのだ。百度で時間設定を通して、探してみたが、それより以前には輸入古肉の記事は見つからなかった。

最後に、記者は『南寧警察サイド』、つまり広西南寧市公安局に連絡をとり、呂という宣伝処の責任者が、こう答えてくれた：

『この報道が出てきてから後（つまり**2013**年**7**月）、我々が調査した際に、そんな事案を処理したこともないし、外部にこのような情報を出したこともありません。全く持って変な話です。』

責任者の呂さんが回顧して語るには：

『**2013**年に、江西チワン族自治区で某部門が、「偽造商品撲滅行動」という食品の安全キャンペーンを組織していましたが、この活動上の際に、偽造品や不合格製品の一部が展示されていました。但し、南寧市が実施したのですが、メディアは、これを南寧市公安局が実施したものとしました。また、関連報道はメディアがその活動の中で勝手に書いたもので、南寧警察サイドはまったく事情をしらないのです。』

私は更に「個人的に民警にインタビューしていたという可能性はあるか？」と質問を試みた。呂さんは『本事案が存在しないのに、どうしてインタビューを受けるのでしょうか？』と回答した。

可能性についてのトレース・ミスを防ぐ為、私は、更に広西省食品薬品监督管理局に電話をし、**2013**年のこの報道についての事実を確認したところ、宣伝科の許さんという責任者が多くの部門に確認してくれたところ、『関連情報を出したことはない』との答が返って来た。

これらから、いずれの政府関連部門も『**30~40**年も保存されていた』という肉を押収したということを正式に発表していないことが判る。**2013**年にどのようにしてこの報道が書かれたのかの考証は難しいが、新聞報道の角度からみれば、そこには明確な情報源がなく、事案の具体的な地点や当事者がいないこの様なニュースについては、人々を信用させることは極めて難しいと言える。

全体的にあって、密輸肉は以前から存在してきた問題だが、『キョンシー肉（特に数十年保管されていたとする肉）』の報道は、『旧聞』から『接木』、『敷衍』されたものなのだ：一つの『犯罪拠点』の話から敷衍して税関が全面押収したことになり、**2031**年のものが今年のものに、鳳爪が豚肉や牛肉など全ての密輸肉に、数量の憶測も『今年海関が押収した**42**万頭中の一部』に、そしてさらに『戦時の備蓄肉』と言った解釈に、とされたのだ。

但し、『包装日時**1967**年』という鳳爪をベトナム戦争時のアメリカの備蓄肉だったと解釈してしまうのは、滅茶苦茶な話といってもよいだろう。



鳳爪を食べるのは中国人固有のもので、前世紀から今日に至るまで、アメリカ人も欧州人も鳳爪を食べないという点だけは間違いない。

<http://news.sina.com.cn/c/2015-07-10/074632093458.shtml>

..... 以下は中国語原文

剧情逆转：媒体称僵尸肉或为假新闻

新浪新闻中心 news.sina.com.cn 2015-07-10 07:46 综合

文/洪广玉（食品安全资深记者）

从6月底到现在，“僵尸肉”的报道一直在刷屏，百度搜索页面达到24800000个。但是，“封存了三四十年的肉”拿出来重新卖，你难道没起疑心？先回顾这次舆论风暴是怎么兴起的：

从6月1号开始，海关总署开展了一项打击冻品走私专项行动……



6月2日，新华网(长沙)以“长沙海关查获涉嫌走私冻牛肉20余吨”为题进行报道。作为官媒进行了报道，很正常嘛。

新华网报道



6月3日，新华网从总体上报道了全国各海关的“战果”。总之，这些内容看起来像是海关总署每年的例行工作，并没有引起太多关注。

转折点来了，6月23日，新华网(长沙)发表了一篇标题为“走私“僵尸肉”窜上餐桌，谁之过？”的报道，访报道算是对长沙海关破获的案件的深入报道。

新华网报道

走私“僵尸肉”窜上餐桌，谁之过？

2015年06月23日 11:27:47 来源：新华网



新华网长沙6月23日电（记者李丹）“70后”猪蹄、“80后”鸡翅……有的比一些年轻人年纪还大的“僵尸肉”通过走私入境，悄无声息地出现在宵夜摊、餐厅。这些肉有的来自疫区，有的严重过期，用化学药剂加工调味品后居然摇身一变成成为“卖相”极佳的“美味佳肴”，威胁着百姓的食品安全。

食品安全参考

新华网报道

男子买鸡怀疑遇“僵尸肉” 老板证清白自喝鸡汤

2015-07-07 11:06

来源：华龙网

【字号：大 中 小】



老板亲自喝鸡汤

揭开冻品走私利益链：竟有冻品封存于1967年

2015年07月02日 08:41:46 来源：新华网



食品安全参考

该文首次给“僵尸肉”命名！报道里出现了“剧情”：记者了解到，一些走私冻肉包装上的生产日期显示，“肉龄”竟然长达三四十年。在6月的海关打击冻肉走私的专项行动中，有“80后”缉私人员在广西某口岸查处了一批比他年纪还大的“70后”冻肉。从这里开始，“僵尸肉”的说法迅速传开，舆论被引爆了，新京报、南方都市报等媒体都有跟进报道，还引用业内人士的话，说得有板有眼。后来央视、人民日报也加入了进来。大家完全当真啊，甚至各地食药监也开展起了所谓排查“僵尸肉”的行动。消费者也吓得不轻啊！有媒体报道，某男子买鸡怀疑遇到“僵尸肉”，老板为证清白自己喝下鸡汤。

似乎是为了交待得更清楚，7月2日，新华网（南宁）发表了名为“揭开冻品走私利益链：竟有冻品封存于1967年”的报道。

这篇进一步坐实僵尸肉的年龄，称：

南宁市警方在查获一批走私冻品时，发现其中一些鸡爪包装袋上印制的包装日期竟然是三四十年前，其中时间最长的包装日期显示封存于1967年。”并暗示这些僵尸肉是越战时的储备肉。

作为普通读者，读到这里，其实是不太容易发现问题的，但是作为媒体人还会觉得有点不对劲，在这些报道中，引用的信息源非常模糊，表述得很不规范，比如“记者了解到……”记者是从哪了解到的？是怎样了解到的？广西某口岸是哪个口岸？哪个“80后”？

就算记者确实有听到，这个“80后”说的就是真的吗？

好了，轮到我这种不嫌事多的媒体人干活了：为了核实这些报道，我对涉及到的部门分别再次采访。

（以下均为电话采访内容，没法提供图片证明了，不过，如有媒体同行感兴趣，我可以提供所有受访人的录音、联系方式供查证）

首先出场的是长沙海关的回应（媒体最早提到的海关），缉私局副局长杨波的话：

“我们并没有查到过僵尸肉，这是全国一起搞的行动，其它局有没有查到我不知道，反正我们没有，也从来没有对外发布过这样的消息。”

既然可能是“广西某口岸”查处的，所以又联系到了广西南宁海关宣传科，这是张姓科长的话：

“最近太多这样的报道，我们已经专门核实过了，我们从来没提供过这样的消息，既没有说过僵尸肉的事，也没有说过年份的问题，是谁发的稿子，你们就去问谁吧。”

我补了一句，那你们在工作中有查到过这种肉吗？（指封存几十年的），张科长肯定地说：从没有在工作中查到过这种年份的肉。

张科长最后提醒我，早在2013年，网上就有“南宁警方发现封存于1967年的肉”的报道。继续搜索：搜到的一篇比较早的报道，是温州日报的



广西查假发现 43年前产袋装鸡爪

2013-07-08

夏天一到，鲜香辣俱全的袋装鸡爪是南方不少城市夜宵的必备“小菜”，也是不少人喜爱的“零食”。然而，记者近日采访发现，这来自异国他乡的“零食”，甚至有的已经有几十岁“高龄”。

注意，该文中并没有具体警方人士接受采访，更没提这些肉是战时储备肉。然而，这就是所谓“僵尸肉”能追溯到的最早源头。通过百度搜索的时间设定，已经找不到更早的提及陈年走私肉的新闻。

最后，记者联系到“南宁警方”，也就是广西南宁市公安局，宣传处一位吕姓负责人回应：

“这个报道出来后(指 13 年 7 月)，我们就查过，我们从来没有办过这样的案子，也从来没对外发布过这类信息。真的是莫名其妙的事。”

吕姓负责人回忆说：

“2013 年时，广西壮族自治区某部门组织了一个“打击假冒伪劣产品”食品安全宣传活动，这个活动上有展示一些假货和不合格产品，只因为在南宁市举办的，媒体就以为是南宁市公安局举办的。而相关报道是媒体在活动中自己挖出来的，南宁警方完全不知情。”

我又问，有没有可能民警私下接受采访？吕回复说“都没有这个案子，怎么接受采访？”

为了不放过任何一丝可能，我又拨通了广西省食品药品监督管理局的电话，询问 2013 年的这则报道是否属实，宣传科许姓负责人向多部门核实后，回复道：没有发布过相关信息。

由此可见，没有任何官方发布过查获所谓“封存三四十年”的肉。至于 2013 年的那则报道是如何出炉的，已难以考证，但从新闻报道的角度来看，它没有确切的信息源，也缺乏案件具体地点、当事人这样的新闻细节，很难让人相信。

总体来说，走私肉是一直存在的，但“僵尸肉”(特指封存几十年的肉)的报道，是从一则“旧闻”不断嫁接、演绎而来的：将一个“窝点”演绎成海关全面查获，将 2013 年拉伸到今年，将凤爪外延到猪肉、牛肉等所有走私肉，再将数量臆想为“今年海关查获的 42 万吨当中的一部分”，再补充一个所谓“战时储备肉”的解释……齐活了。但是，将“包装日期为 1967 年”的凤爪解释为越战时的美国储备肉，也编得太不像话了：



没错，吃凤爪是中国人的独有爱好，从上个世纪直到今天，美国人不吃凤爪，欧洲人也不吃。(来源：食品安全参考)